

Research Foundation for Food and Culture

食生活文化 良レポート

NO. 76

一般財団法人

日本食生活文化財団

〒104-0045 東京都中央区築地4-2-7-507

電話 03(3541)6622 FAX 03(3541)6652

URL <http://www.nsbz.or.jp/> E-mail jimukyoku@nsbz.or.jp

令和 8 年 3 月 31 日 発行

「食文化ニュース」は「食文化レポート」に改題しました。



令和7年11月14日 令和7年度 食生活文化賞授賞式 於 上野精養軒

財団のシンボルマーク



製作：金工作家 日本芸術院会員 文化勲章
蓮田修吾郎先生

左のマークは、当財団が食生活文化賞受賞記念メダルとして使用している構図です。我が国は、南北に長い陸地とそれをとり巻く海、四季の移り変わりがはっきりした自然と風土に恵まれ、四季折々の海・山の産物は、それぞれに微妙な味の変化を楽しませてくれます。

このメダルは、一年を十二角形により表現するとともに、海の幸・大地の幸などそれぞれの旬の、新鮮な食物を図案化し、広く食生活文化の発展を祈ったものです。

世界のアート・メダルの歴史のなかでも、十二角形を鋭角なタッチで制作したものは、鍛造上高度な技術要求され、貴重な存在であります。

一般財団法人 日本食生活文化財団

目次

理事長挨拶……………	2	学生表彰……………	4
食生活文化賞授賞式・祝宴……………	2	令和7年度 食生活文化賞 ご受賞者の皆様……………	4
令和7年度 洋菓子特別講習会……………	3	令和8年度 行事予定……………	4
新春食文化懇親夕食会……………	3	日本食生活文化財団へのご意見・ご要望……………	4

理事長挨拶



一般財団法人
日本食生活文化財団
理事長 三田芳裕

日頃は、当財団の運営につきまして格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
食生活文化レポート第76号の発行にあたりご挨拶申し上げます。

当財団の事業活動は、顕彰事業をはじめ、令和7年11月に洋菓子講習会、令和8年1月に新春食文化懇親夕食会を開催し、令和7年度の活動を終えることが出来ました。

特に主事業である顕彰事業は多くの皆様からご推挙を賜りました立派な候補者の中から審査小委員会、審査委員会そして外部委員の皆様による顕彰委員会まで約半年にかかる検討を経て、今年度の受賞者を決定し、令和7年11月14日上野精養軒にて授賞式を挙げる事が出来ました。

関係各位のご協力深く感謝申し上げます。

世界は激変の時代へととなりつつありますが、食生活文化には人々を幸せにする力があります。

これからも食文化を発展させ、社会に貢献させて頂く所存でございます。

今後の事業につきましても、皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

令和7年11月14日 食生活文化賞授賞式・祝宴を開催

会場：上野精養軒

今年度の食生活文化賞は新顕彰規程での10回目の授賞式となりました。
授賞対象者は、会員の推薦により全国各地の食生活文化全般に携わる方々を対象とするように致しました。

今回は飲食店・外食産業関連の専門出版社として高い市場シェアを持つ出版社・インスタントラーメンの開発販売をする企業。市販用レトルト食品を発売した企業のと3社と発酵学研究所の第一人者・料理人ブームの先駆けとなった和食料理人の2名が食生活文化特別賞を受賞、更に、「食育」の第一人者や永年に亘り、当財団にご尽力された2名が食生活文化特別功労賞を受賞され、各部門から8名が食生活文化賞を受賞されました。

授賞式には受賞者・会員合計73名の皆様にご参加頂き、ご受賞を祝うことが出来ました。
受賞者15名の名簿が最終項に御座いますのでご照覧お願い致します。

ご受賞の皆様おめでとうございます。



小澤副理事長開式のことば



奥野信亮名誉会長の挨拶



式辞を述べる三田理事長



文化庁長官のご祝辞を代読される文化庁
参事官(生活文化連携担当)中島勇人様



受賞者の皆様



中富審査委員長により選考経過報告



食生活文化特別賞授与の様子



食生活文化特別功労賞授与の様子



食生活文化賞授与の様子



受賞者を代表して謝辞を述べる沼尻寿夫様



森口理事閉式のことば



祝宴で歓談される皆様



中富理事のなかじめの挨拶

講師：元オーナーシェフ 杉野 英実氏
 講演会のタイトルは「進化する菓子～おいしさの追求に終わりはない～」
 講演会内容：下記の品目の実演と試食

Epicerie	エピスリー
Figue Figue	フィグ・フィグ
Madeleine Ardechoise	マドレーヌ・アルデショワ

募集形態は当財団会員宛ダイレクトメール・HP、ドーバー洋酒貿易（株）のHP及び営業の皆様への御協力を得ました。

参加者：124名内当財団会員16名

杉野英実氏は、50年のキャリアを通じ、その飽くなき探求心と類稀なる発想力により、独自の世界観を創り上げた稀代のパティシエです。氏が生み出すオリジナリティー溢れるお菓子の数々は自店を通じて30年に亘り多くのファンを魅了してきました。国内のみならず世界中のパティシエからも尊敬を集める同氏だが、自店は3年前の春に惜しまれつつ閉店されました。

今回は自著『進化する菓子-TASTE IN PROGRESS-』から数点を厳選し、その誕生秘話や当時の思い出も交えながら実演して頂き、氏のお菓子作りに対する情熱、素材との向き合い方、後進に伝えたい思いや今後の展望など、多岐にわたり語って頂き、真剣に仕事と向き合う姿勢が伝わってくる講習会でした。参加者の殆どが関東地区の洋菓子製造販売業及び関連会社の皆様で会場が満員で盛大に開催されました。



開会の挨拶 三田理事長



講師：杉野英実氏



杉野シェフとスタッフ一同



熱心に聴講される皆様



エピスリー



マドレーヌ・アルデショワ

例年、当財団と東京西洋料理協会共催で「新春食文化講演会・懇親夕食会」としていましたが、今年は「新春食文化懇親夕食会」を当財団単独で開催し計18名のご参加を頂きました。

懇親夕食会は濱田家様の贅を尽くした料理とサービスに加えて、東京赤坂組合の皆様のおめでたい新年の情景や風習、新春にふさわしい華やかな唄と舞が披露され江戸の風情の溢れる夕べとなりました。



三田理事長の挨拶



森口理事の乾杯



お食事を歓談される皆様



東京赤坂組合の芸者衆



牛窪監事の中締めの挨拶



前菜 梅に鶯・鱒山椒焼・菜花昆布メ

令和7年度 友好団体協賛

当財団は顕彰事業の一環として表彰状の協賛をすると同時に、事業への後援名義協賛を行っております。下記が令和7年度の協賛の概要です。

令和7年6月7日	クラブ・プロスペール・モンタニエ	第43回	フランス料理最優秀見習い料理人選抜コンクール
令和8年3月21日	公益財団法人日本料理研究会	第35回	全国日本料理コンクール

令和7年度 卒業生 学生表彰

財団は顕彰事業の一環として、教育機関を運営されている法人会員を対象に、代表者からの申請により、優秀な卒業生に卒業式で賞状を授与しております。

下記が令和7年度の協賛の概要です。

(卒業式日程順・敬称略)

卒業式又は授与予定日	法人名	学校名	被表彰者名
令和8年3月7日	(学)東京聖徳学園	聖徳大学	舟久保咲菜
令和8年3月10日	(学)東京総合食品学園	東京製菓学校	原田 桜
令和8年3月12日	(学)華学園	華調理製菓専門学校	菊池 紗良
令和8年3月15日	(学)食糧学院	東京栄養食糧専門学校	牧野 瑠璃
令和8年3月15日	(学)食糧学院	東京調理製菓専門学校	NGUYEN VIET HOAI
令和8年3月18日	(学)二葉総合学園	吉祥寺二葉製菓専門学校	鈴木 沙夏
令和8年3月18日	(学)二葉総合学園	吉祥寺二葉栄養調理専門学校	高橋 恵大
令和8年3月19日	(学)服部学園	服部栄養専門学校	PARK JEONGMIN
令和8年3月22日	(学)誠心学園	東京誠心調理師専門学校	北村 鴻

令和7年度 食生活文化賞 ご受賞の皆様

部門	お名前	賞名	勤務先 団体・会社名	役職名
印刷出版	株式会社 柴田書店	食生活文化特別賞	株式会社 柴田書店	代表取締役社長 丸山 兼一
食品製造販売	日清食品 株式会社	食生活文化特別賞	日清食品 株式会社	代表取締役社長 安藤 徳隆
食品製造販売	大塚食品 株式会社	食生活文化特別賞	大塚食品 株式会社	代表取締役社長 池内 呉郎
教育研究	小泉 武夫	食生活文化特別賞	特定非営利活動法人 醜酵文化推進機構	理事長
日本料理	道場 六三郎	食生活文化特別賞	銀座ろくさん亭・懐食みちば	取締役兼料理長
教育研究	故 服部 幸應	食生活文化特別功労賞	学校法人 服部学園	元理事長・校長
西洋料理	中富 颯隆	食生活文化特別功労賞	有限会社 ナカトミエンタープライズ	元代表取締役
日本料理	青木 信啓	食生活文化賞	ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜 日本料理 華暦	料理長
日本料理	石山 仙宙	食生活文化賞	東京イーストサイドホテル権絵 日本料理 あけくれ	料理長
西洋料理	深町 亨	食生活文化賞	株式会社 東京會館 クッキングスクール	調理本部 調理・製菓部 クッキングスクール 校長
西洋料理	沼尻 寿夫	食生活文化賞	株式会社 三田ホールディング ウエスティンホテル東京	総料理長
洋菓子	杉野 英実	食生活文化賞	イデミスギノ	シェフパティシエ
サービス総合	岩田 知子	食生活文化賞	①(一社)全日本ヴァンドゥーズ協会 ②株式会社 イナムラ	①副会長 ②店長・シェフヴァンドゥーズ
製パン	神林 慎吾	食生活文化賞	株式会社 MOTHERS	執行役員
教育研究	惟村 直仁	食生活文化賞	吉祥寺二葉栄養調理専門学校	教授

1. 食生活文化特別賞 3社 2名 2. 食生活文化特別功労賞 2名 3. 食生活文化賞 8名 計 15件

(敬称略)

令和8年度 行事予定

洋菓子講習会	検討中
服部学園「食育研修プログラム」	検討中
食文化シンポジウム	検討中
食生活文化賞授賞式・祝宴	令和8年11月13日 会場 上野精養軒

訃報

加藤 信 令和7年3月25日 ご逝去 享年88歳 元日本食生活文化財団理事

日本食生活文化財団へのご意見・ご要望

平素より日本食生活文化財団の事業にご協力・ご参加頂き有難うございます。当財団では皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。下記の事務局までメールかFAXでお寄せ願います。

お寄せいただきましたご意見・ご要望は、今後の当財団の事業改善に役立ててまいります。

事務局 メール: jimukyoku@nsbz.or.jp FAX 03-3541-6652